

# 市民のみなさんの意見・意向を調査

市では、市町村合併について市民のみなさんの意見・意向を参考とさせていただくため、市民アンケート調査を実施しています。本号では、この市民アンケートの質問内容のほか、合併についての取り組み状況、新設合併と編入合併の違い、合併後のまちづくりについてお知らせします。

アンケートの回答は  
11月24日までに

平成の大合併が叫ばれる中、全国的に合併の議論が行われています。分権型社会への対応や日常生活圏の拡大、国・地方の財政状況が厳しいことなど大きな課題への対応。また、本市の将来のまちづくりを考えるとき、市町村合併は、避けては通れない重要な行政課題の一つとなっており、地域の将来について考えるきっかけになります。



市では、今後の市町村合併問題の検討にあたり、市民のみなさんの意見・意向を参考とさせていただくため、合併問題に関する市民アンケート調査を実施しています（アンケートの質問内容については4、5ページ参照）。

調査対象：市内に在住の20歳以上の男女（無作為抽出）  
調査人数：10,000人  
調査期日：アンケートが郵送された方は、提出期限の11月24日（休）までに記入の上、投かんをお願いします。  
なお、アンケート結果については、「広報なりた」およびホームページで公表します。

アンケート調査や合併について  
くわしくは合併対策課へ。  
☎ 20-1506  
FAX 24-1006  
Eメール  
gappei@city.narita.chiba.jp

## 成田市の合併についての取り組み状況

平成15年 9月5日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○9月定例会市議会の冒頭で、『市町村合併に関する基本的な考え方』を表明</li> <li>○本会議終了後、記者会見</li> <li>○『市町村合併に関する基本的な考え方』を市ホームページに掲載。また、1市4町と要望書の提出があった町、商工会議所、観光協会、農協など8団体にも送付</li> <li>○成田ケーブルテレビが議場での市長の冒頭表明および記者会見を放映(9月8日まで)</li> </ul>
9月8日(月)~10日(水)	○9月定例会市議会一般質問
9月11日(木)	○下総町長・下総町議会議長より成田市長宛の「要望書」が提出され、『市町村合併に関する基本的な考え方』を説明
9月17日(水)	○9月定例会市議会総務常任委員会において市町村合併を考える会(高本恵会長)が提出していた「市町村合併の推進を求める請願」を審議 趣旨採択
9月19日(金)	○富里市、大栄町、下総町を訪問し、『市町村合併に関する基本的な考え方』を説明
9月22日(月)	○市議会市町村合併協議会を開催
9月24日(水)	○芝山町、多古町を訪問し、『市町村合併に関する基本的な考え方』を説明
10月1日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○『市町村合併に関する基本的な考え方』を「広報なりた」10月1日号に掲載</li> <li>○市長公室内に「合併対策課」を新設</li> </ul>
10月3日(金)~	○タウン・ミーティング、地区別説明会実施
10月31日(金)	○市議会市町村合併協議会を開催
11月中旬	○市民アンケート実施
12月中旬	○アンケート集計

## 新設合併と編入合併の違い

新設合併と編入合併には次のような違いがあります。

区分	新設合併	編入合併
市の名称	新たに定める。	成田市
市役所の位置	新たに定める。	現在の成田市役所
市町村の法人格	新たな法人格が発生する。	成田市の法人格は存続する。
議会議員	原則 2市4町の全員が身分を失い、新たな議員の選挙を行う。	成田市の議員は在任し、他市町の議員は身分を失う。
	特例 特例として、次のいずれかを選択できる。  定数特例 設置選挙に限り、法定定数の2倍以内で議員の定数を設ける。  在任特例 全市町の議員が、2年以内に限りそのまま在任する。	特例として、次のいずれかを選択できる。  定数特例 成田市の議員は在任し、編入される市町で人口に応じた定数を設け、区域ごとの選挙を行う。(任期：市議員の残任期間+4年)  在任特例 全市町の議員が、次回の議員選挙までそのまま在任する。また、その後4年間に限り、定数特例が適用できる。
市町村の長	関係市町の全員が身分を失い、設置選挙により新首長を選出する。	成田市長は在任し、編入される市町の長は身分を失う。
助役・収入役等の特別職	関係市町の全員が失職し、選挙によって市長を選出後、助役・収入役等も新たに任命する。	成田市の特別職は在任し、編入される市町の特別職は失職する場合もある。
一般職の職員	引き続き合併後の職員として身分を保有する。	
条例・規則	関係市町の条例・規則はすべて失効し、新たに制定する。	編入される市町の条例・規則は原則失効し、必要な改正を行って成田市の条例・規則が適用される。

## 合併後のまちづくり

合併方式には編入合併と新設合併の二通りがあり、主な違いは首長や特別職、議員の身分に関する事項となっています。

合併後のまちづくりに関しては「市町村の合併の特例に関する法律」の中で、合併をしようとする市町村は、以下の2点が義務付けられています。

合併に関する協議を行う協議会(合併協議会)を設置する。

合併市町村の建設に関する基本的な計画(新市建設計画)を作成する。

合併する際に必要な協議事項は、すべて合併協議会で協議されます。したがって新市建設計画も合併協議会で作成されることとなります。新市建設計画については、「合併市町村の一体性の速やかな確立及び住民の福祉の向上等を図るとともに、合併

市町村の均衡ある発展に資するよう適切に配慮されたものでなければならぬ」と規定されており、地域の意見や要望を行政に伝えるための「地域審議会」を設置できるようにもなっています。

このように、新設、編入といった合併方式にかかわらず、合併後は格差のない新しいまちづくりが推進されます。



新生成田の建設のために

# こんな質問内容で～

問11 成田地域の市町村合併に関して、あなたが一番よいと思う考え方を選んでください。

1. 2市4町(成田市、富里市、下総町、大栄町、多古町、芝山町)で合併するのがよいと思う。
2. 2市4町の枠組みの中での合併がよいと思う。  
(次の中から、成田市と合併した方がよいと思う自治体を選び、をつけて下さい。)  
ア. 富里市 イ. 下総町 ウ. 大栄町 エ. 多古町 オ. 芝山町

3. 2市4町の枠組みにこだわらず合併するのがよいと思う。  
(次の中から、成田市と合併した方がよいと思う自治体を選び、をつけて下さい。)

生活圏と空港圏の合致する自治体 ア. 富里市 イ. 下総町 ウ. 大栄町 エ. 多古町 オ. 芝山町

生活圏の合致する自治体 カ. 酒々井町 キ. 栄町

空港圏の合致する自治体 ク. 横芝町

その他の自治体 ケ. 神崎町 コ. 栗源町  
サ. その他( )

4. 生活圏や空港圏の枠組みを中心とした合併の必要性は感じて  
いるが、どの枠組みがよいかはまだわからないので、情報提  
供に努めるとともに、慎重に対応するのがよいと思う。
5. 今の成田市の現状では、合併の必要性はないと思うが、今後  
の国や県の動向や社会情勢次第では、合併もやむなしと思う。
6. 成田市単独がよいと思う。



問12 市町村が合併する場合「編入合併」と「新設合併」の二通りの方式があります(別添の資料参照)。成田市は、その財政基盤や歴史・文化等において全国的な知名度をもっていることから1市4町(富里市、下総町、大栄町、多古町、芝山町)に対して、成田市への編入を提示したわけですが、このことについてあなたはどのように思いますか。

1. 編入合併が妥当だと思う。
2. 新設合併の方がよいと思う。
3. どちらともいえない。

問13 あなたは成田市が他の市町村と合併した場合、どのような効果を「期待」しますか。特に期待することを、次の中から3つまで選んでください。

1. 地方分権社会に対応した行財政基盤の強化が図られる。
2. 空港の騒音対策、観光や農業などの地域振興策に対して一体的に取り組める。
3. 空港所在都市として、また北総の中心都市としての役割を果たし、医療・教育分野など、新しい取り組みが期待できる。
4. 地域内の工業団地等のイメージアップにつながり、産業振興の面で相乗効果が期待できる。
5. 広域的な環境対策への取り組みや、消防・防災体制の強化を図ることができる。
6. 市町村長や議員、職員数が減少し、行政を効率化できる。
7. 平成17年3月までに合併すれば、国からの財政的な支援措置を受けることができる。
8. 特に期待する効果はない。
9. その他( )

問14 あなたは成田市が他の市町村と合併した場合、どのようなことを「心配」しますか。特に心配することを、次の中から3つまで選んでください。

1. 中心部だけが発展し、周辺部が取り残される。
2. 区域が広くなり、同じ郷土意識を共有できない。
3. 行政サービスの低下や住民負担の増加につながる。
4. 財政状況に差がある市町村の合併は、財政状況のよい市町村に不利になる。
5. これまでのまちづくりの方針や計画等の蓄積が失われてしまう。
6. 議員が減ると地域の意見が行政に伝わりにくくなる。
7. 特に心配はない。
8. その他( )

自由意見 市町村合併についてのご意見をお聞かせください。

# ～アンケート調査は

問1 あなたの性別を教えてください。

1. 男性                      2. 女性

問2 あなたの年齢を教えてください。

1. 20～29歳    2. 30～39歳    3. 40～49歳    4. 50～59歳    5. 60～69歳    6. 70歳以上

問3 あなたの職業を教えてください。

1. 会社員・公務員等    2. 農林水産業    3. 自営業    4. 学生等    5. 無職    6. その他(    )

問4 あなたがお住まいの地区はどちらですか。

地区がわからない場合は、ご住所(番地は結構です)を記入してください。

1. 成田地区              2. 公津地区              3. 八生地区              4. 中郷地区              5. 久住地区  
6. 豊住地区              7. 遠山地区              8. ニュータウン地区  
9. 地区がわからない場合    成田市 \_\_\_\_\_ (例：花崎町)

問5 あなたは市町村合併について、どの程度関心がありますか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 関心がある。                      2. どちらかといえば関心がある。  
3. どちらかといえば関心がない。    4. 関心がない。

問6 「平成の大合併」が推進されている背景として、国の財政事情や地方分権の推進、日常生活圏の拡大などがあり、さらに成田地域の特殊事情として、空港問題への広域的な取り組みの必要性、という要因があることをご存じですか。

1. 知っている。    2. 知らなかった。

問7 あなたは市町村合併に係る国の特例制度(財政上の支援策など)の期限が、平成17年3月31日であることをご存じですか。

1. 知っている。    2. 知らなかった。

問8 市は合併問題にどのように取り組むことが望ましいとお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 国による財政上の支援策がある、合併特例法の期限(平成17年3月31日)を考慮し、合併の是非について検討すべきである。  
2. 市町村合併は、市民の日常生活や将来に大きくかかわる重要な問題であるので、合併特例法の期限にこだわらず検討すべきである。  
3. どちらともいえない。

問9 あなたは市町村合併を考えるにあたって、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

1. 市町村合併に関するパンフレットやリーフレットの配布  
2. 市町村合併に関する説明会やタウン・ミーティングによる意見交換  
3. 合併後の市のまちづくりの構想や計画の提示  
4. 合併による具体的な効果や影響等の提示  
5. 特に何も望まない  
6. その他

問10 あなたは成田市が、現時点で2市4町(成田市、富里市、下総町、大栄町、多古町、芝山町)を最大の枠組みとして合併を検討していることをご存じですか。

1. 知っている。    2. 知らなかった。